

# ささえあい

～ばあちゃん、地域の活動においでよ編～

自治会長を中心に、地域の民生委員さんや老人クラブ、保健推進員さんなど、様々な人が集まりました。

「うちのじいさんも認知症が入ってきて、外に出なくなったんだ。」

隣のばあちゃんも外に出なくなったよ

でも、人と話すのは大事だね。

これからますます高齢者だけの家が増えてくるよね

とある地域の相談風景

自治会長

あそこのはあちゃんがデイに行くようになってサロンに来なくなったんだ

デイに行くと来なくなる人が多いんだよねあ。

「前はクラブゴルフとか、いろいろ参加していたけど、

骨折してから、デイの日以外は家さいるんだと。

外さ出る機会が減ってしまうね…

なるほど…

「協議体をつくって話し合ってみませんか？」

地域の困りごとや、解決方法を話し合う協議体で話し合おう

こういう問題は、この方だけではなく、地域の高齢者に多い課題だと思うんです。

「案内は私が作りますね」

「まあ、まず役員さんたちと民生委員に相談してみようか。」

こういう人は多そうだから、地域の高齢者に聞きとり調査をしてみようか。

「できることを考えてみよう。」

滝沢市では、市内の各地域に「この事例のように協議体」を作り、地域の支えあいの体制づくりを行っています。地域の困りごとや、課題は地域ごと大きく異なりますし、必要なものも異なります。地域で課題を具体化し、自分たちができることや、必要だと感じることを協議体の中で整理していきます。

協議体について

【この事例の背景】少子化が進み、超高齢社会を迎えている日本。滝沢市でも、高齢化率は25%を超え、4人に一人が高齢者という状況で、ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけで暮らす世帯が増えています。団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療や介護サービス以外にも、自分の家で暮らし続けるための見守りや生活支援を必要とする人が、ますます増えていきます。この事例は、そんな高齢化の影響を受けて地域で何ができるかを話し合い、模索しているようすです。

# みんなで作る 支えあいの地域を目指して

生活支援コーディネーターが、市内の各地域に、「協議体」をつくる支援をします。

各協議体では裏面のように話し合いを行っていきます。参加者は、自治会のみなさんはじめ民生委員さんや、ボランティア、民間企業など、多様な主体の参加が考えられますので、地域の実情に応じて参集していきます。

5年後、10年後にどんな地域になっていたら、住み続けられるか、「めざす地域像」についてイメージを作っていく、目指す地域像の実現のためにどんな取り組み、仕組みが必要かを話し合います。

各地域での話し合いを集約し、滝沢市全体の課題を話し合う場づくりも行っていきます。

## つなぐ 生活支援コーディネーター



### 知る

#### 社会参加のための地域資源

- ・地域の世話役さんによるお茶飲みの会
- ・長年行われてきたおすそ分け文化
- ・隣近所の声掛けの取り組み
- ・自然とできたたまり場
- ・介護予防のための体操の場

この地区ではこんな取り組みがあるよ



第2層コーディネーター(北部1名、中部1名、南部1名)

生活支援コーディネーターが協議体のネットワークをいかして、支えあい活動が活性化されるよう人と人をつなげ、地域の方と一緒に取り組みを進めていきます。

### 気づく

#### 今、地域で起きている問題

- ・玄関の除雪ができなくなった人が増えている。
- ・移動手段がなくて買い物ができない。
- ・地域活動の担い手がいらない。
- ・住民同士の交流が少ない。
- ・ちょっとした助けが欲しい。
- ・気になる高齢者がいる。

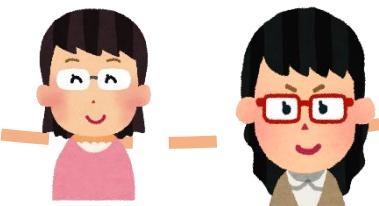
ちょっと手助けしてくれる人がいたら助かるなあ...



#### “第2層協議体”とは...

「支えあいの地域づくり」を話し合う場です。

すでにある支えあいの活動など地域の情報を共有したり、将来に向けて、自分たちの地域をどのような地域にしたいかなど、アイデアを出し合います。その地域ならではの支えあいの仕組みづくりを、できる範囲で考えていきます。



第1層生活支援コーディネーター

#### 第1層協議体とは...

第2層の話し合いを踏まえ、「市全域」の地域課題や、目指す地域像について話し合います。



#### 各圏域のご相談について

南部地区: 滝沢南地域包括支援センター

☎ 601-5415

中部地区: 滝沢市社会福祉協議会

☎ 684-1110

北部地区: 松実会地域包括支援センター

☎ 688-1088

この資料についてのお問い合わせ

滝沢市地域包括支援センター ☎656-6523